

くまがや自治連だより

ひろば

第6号

平成21年10月発行



地域の伝統・文化の掘りおこしと継承

副会長 橋 本 國 男

あついで熊谷で全国的にもすっかり有名になった本市では、昨年度から「あつさはればれ熊谷流」プロジェクトを立上げ、壁面緑化事業、熊谷駅広場冷却ミスト事業、花いっぱい事業、百年の森づくり事業等様々な取り組みを推進している。

三六八人の会長さんも、各自治会で地域の実態・特性にそった様々な取り組みを実施している。また、安全・防犯という日常的な行動に加え、季節ごとの祭りや環境美化活動、防災訓練も実施されている。

これら諸活動を通し、私たちが最も留意しなければならぬのは、地域の伝統・文化を掘り起こし、これをいかに若い世代に伝達し継承していくかであろう。安全・安心なまちづくりに貢献しつつ、歴史と文化を大切にされた地道な取り組みで本市をより住みよいまちにしていきたいと思う。

会員皆様のご協力をお願い申し上げ、自治会の歩みを確たるものとしていきたい。

◇長井自治会連合会◇

連合会長 茂木進一

長井自治会連合会は十八の自治会で構成され、加入世帯数は二、三七〇世帯（平成二十年度末）と大きな連合会です。利根川右岸に位置し中心を福川と備前渠が流れ、平坦で肥沃な耕地では米麦を中心に、ハウス栽培による野菜作りも盛んで、近年、西城地区に完成した有機センターの稼働により、減農薬、減化学肥料による有機栽培が推奨され、安心・安全な野菜作りを目指し、各農家共頑張っています。



めぬま有機センター

只、ご多分にもれず当地区も農家の後継者問題は深刻で、農業従事者の高齢化が年々進んでいるのが現状です。明るい未来のために何とかこの問題が解決できないかと皆、腐心しているところでもあります。

そんな農村地帯にも、各地に団地ができ、新旧住民が同じ自治会員として色々な行事等にも積極的に参加し、安全で住み良いまちづくりに向けて協力し合っています。

次に長井地区の由緒ある場所を紹介したいと思います。

龍泉寺（善ヶ島）

境内にある観音堂は、三間四面の方形のお堂で、支輪等の様子に江戸初期の特徴を良く表しています。細部は和様と唐様を巧みに織り交ぜた県内でも代表的な建物として、昭和三十四年、県指定文化財に指定されました。

平成四年に修復工事が完了、御本尊は不動尊明王です。



龍泉寺観音堂

西野の中世館跡（実盛塚として伝わる）

福川に架かる井殿橋より右岸を上流に少し入ると、実盛塚として伝わる板碑が見えてきます。古代長井庄の中心的位置だったようです。

「妻沼聖天山」を開いた齋藤別当実盛は、大治元年（一一二六年）越前の河合齋藤家に生まれ、

同族の長井齋藤実直の養子となり、長井庄に移り住んだとされています。実盛は、折からの戦乱の世に巻き込まれていきます。源氏の兄弟間の争いで、わずか二歳の駒王（後の木曾義仲）の命を助けた実盛は、源氏方につき保元・平治の乱で大活躍します。その後、領土安堵を条件に台頭した平家につきました。巻き返しを図る源氏は、木曾義仲が挙兵、勢力を伸ばします。平家方だった実盛は、形勢不利を承知の上で出陣していきます。孤軍奮闘の末、勇壮な最期を遂げました。

実盛の死を知った義仲は、昔、命を助けられた思いを偲び、さめざめと泣き、孝養を誓ったと源平盛衰記は伝えています。（「めぬま郷土かるた」より引用させていただきます）



中世館跡

◆ 弥藤吾連合自治会 ◆

会長 栗田岩治

弥藤吾地区の概況を紹介させていただきます。区域は、旧妻沼町市街地南側に位置しております。戸数八九〇戸、九つの単位自治会で構成された弥藤吾連合自治会です。地区内には妻沼南小学校、妻沼西中学校、県立妻沼高校があり、道の駅めぬま、妻沼物産センター、妻沼行政センター、妻沼運動公園、老人福祉センターひかわ荘等の施設もあります。尚、妻沼西部工業団地の進出企業も決まり建設中です。産業も農業を中心とした地域から文教や健康福祉地域、更に野菜の産地を活かした直売物産センター等将来に向かって大きく変化しつつあります。

熊谷市になつてすぐに妻沼南小学校区連絡会が各界の代表によって組織され（略称校区連）自治会との連携もスムーズに行われておりますので、その活動も紹介します。その前に説明しておきたい事は、弥藤吾地区の自治会は妻沼自治会連合会にも入っており、組織上は重複してしまふ形になるので、熊谷市自治会連



グランドゴルフ大会

合会には妻沼自治会連合会での届出となっておりません。それは合併前よりめぬま祭り、妻沼地区体育祭、敬老会の行事等は、妻沼地区の行事として行っていたからです。弥藤吾連合自治会の主な活動は、伝統的な氷川大神社の祭典（新年祭・祈念祭・例大祭・新嘗祭）地域の夏祭り、地藏尊祭、観世音祭等の行事はもとより、毎年盛大に行われる親善グランドゴルフ大会も十六年目を迎え、毎年参加率もよく二十七チーム、百六十人以上の参加で開催されています。

校区連との連携について

熊谷市になつて三年経過しましたが、校区連の活動も活発に行えるようになりましたので、その一端を紹介いたします。先ず地域活動を円滑に推進するために四つの方針を出しました。安心安全美化推進、スポーツレクリエーション（スポ・レク）の推進、ふれあい推進、青少年育成の推進でした。各界の代表で組織する校区連二十二名の役員全員に四つの方針の一つを選択してもらい、四つの推進グループを編成して活動を行っています。

①安心安全美化——地域の防犯パトロールについて協力者の募集を行い、百五十名の登録をいただきました。この人々を中心に、子供達の登下校の見守り活動を行っています。美化活動では、年二回の南小の一斉下校の時、通学路を子供達と一緒に清掃活動・クリーン南を行っています。

②スポ・レク——南小運動会への多数の地域区民の参加、長寿会のグランドゴルフ大会の開催。

③ふれあい——南小フェスティバルとして地域の先生の募集をしています。四十名以上の先生により伝統文化にふれる活動として(A)作るコーナー（木工細工・タオル人形・ドングリ工作・絵手紙等）(B)遊ぶコーナー（ベーゴマ・お手玉・あやとり・

カルタ・剣玉等）この他たくさん先生の特技を紹介。

④青少年育成——親子餅つき会、親子グランドゴルフ大会、リサイクル工作等多くの行事を子供達とふれあいながら活動しています。



清掃活動・クリーン南

多岐にわたる自治会活動に思う

世の中便利でスピードと変化の激しい時代になりました。その反面、負の部分も生じてきます。自治会活動も益々多岐にわたってきます。各種の回覧や配布物や集金・連絡等、更に防犯活動・防災の問題、環境美化とリサイクル活動の推進、核家族・一人暮らしの問題、これらのふれあい活動まで含めていきますと際限がありません。今、地域力を活かす事が大切だと言いますが、良好な信頼関係を育てることが出来るのも自治会活動しかないと思います。一人一人の協力信頼関係が基にないと多岐にわたる行事や活動を円滑に実施することは出来ません。車の両輪であると思います。これについて我が弥藤吾連合自治会は、一致協力・実行型と自負しています。

◇ 青山自治会 ◇

会長 飯島 祐典

青山自治会は、熊谷市の南部に位置し、東松山市と隣接しており、会員は二〇三世帯と五法人で構成されています。

今回は、青山地区内にある二つの名所、旧跡と自治会活動を報告いたします。

根岸家長屋門と根岸友山

根岸家は中世に活躍した熊谷次郎直実の末裔といわれ、江戸時代中期以降、青山村・箕輪村の名主を務め、約八十町歩の土地を有する豪農でした。

根岸家長屋門の構造は入母屋造、瓦葺で壁材は土壁です。外壁は下部の腰壁部分が板張り、それより上部は漆喰仕上げで、門部分は壁面より後退し、右側に潜り戸を有しています。脇部屋には出格子窓に似た窓が配され、両脇部屋は使用人の住居、倉庫、剣道場として使われました。長屋門の規模は桁行二十四m、梁間六m、棟高七m、面積は百四十㎡で、建築年代は定かではありませんが、江戸時代後期といわれています。



根岸家長屋門

また、根岸友山は文化六年、青山村の名主の

家に生まれ、文武に励み、剣を北辰一刀流の千葉周作に、学問を大木大学に学び、自邸内に三餘堂、振武所を設け、近郷子弟への就学に努めました。また、大地主としての豊かな財を使って、荒川や和田吉野川の水利改善に取り組みました。毎年四月には、商工会等と協賛して「友山祭り」を開催し、無料竹の子掘り、大正琴の演奏、野立てや模擬店が立ち、大勢の人で賑わいます。

青山古墳

比企丘陵の北東部に位置し、標高五十一mの丘陵上に構築された古墳です。古墳の形がちょうどカブトの形から、この名がつけられました。



青山古墳

この古墳は中段にテラスをもつ円墳で、南北径九十m、高さが十二mあります。円墳としては、さきたま古墳群の丸墓山古墳について県内二番目の大きさで、県指定の文化財となっています。

主な自治会活動

① 手作り敬老会の開催

七十歳以上の方を対象に、毎年十月上旬実施。

② 防災訓練・防犯パトロールの実施

青山自主防犯・防災組織が結成されており、年一回の防災訓練と、全二十三班に配布された防犯グッズにより、班毎に防犯パトロールを実施。

③ 環境美化活動

① 家庭ゴミの分別

毎週水曜日に当

番制で危険物等を

分別し、ゴミステーションの美化に努めています。

② ゴミゼロ運動の実施

年二回のゴミゼロ運動の他に、小学生・PTAによる親水公園の清掃と公園等の除草作業。

業。

編集後記

「あついで熊谷」の熱気が天に届いたのか、今年は夏らしい天候が少なく、農作物への影響が心配されたり、各地域の夏祭り等で天候に悩まされたりしたことと思います。

「ひろば」も第六号を数え、各地区の特色ある活動を詳しく知ることができました。これも各自治会長さんが先頭に立って、地域の活性化のため活躍していらっしゃることに由来のものと、感謝とお礼を申し上げます。

多くの方々にご多用のなかご寄稿頂き、厚くお礼申し上げます。ともに、各自治会の発展とご活躍をお祈りいたします。

副会長 小林 芳雄



「芙蓉」小林芳雄 作



親水公園の清掃作業